

第139回

# 中小企業景況調査報告書

〔 平成26年1月～3月期実績  
平成26年4月～6月期予測 〕

平成26年5月  
群馬県商工会連合会

# 中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

## 1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数……50% - 20% = 30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

## 2. 調査期間

今回は、平成26年3月1日 (土) を調査時点とし、期間は平成26年1月～平成26年3月期である。

## 3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

## 4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口: 人)	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
し ぶ か わ (39,505)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,190)	15	3	3	4	5
桐生市新里 (17,085)	15	5	4	3	3
高崎市群馬 (36,568)	15	2	4	5	4
吉 岡 町 (19,284)	15	3	3	5	4
高崎市新町 (12,708)	15	3	2	4	6
下 仁 田 町 (8,245)	15	3	3	4	5
東 吾 妻 町 (14,914)	15	3	3	5	4
片 品 村 (5,076)	15	3	2	4	6
明 和 町 (11,036)	15	4	4	3	4
合 計	150	32	31	43	44
(構成比%)	(100%)	(21.3%)	(20.7%)	(28.7%)	(29.3%)
回 答 企 業 数	149	32	31	43	43
回 収 率 (%)	99.3%	100%	100%	100%	97.7%

※人口については、

桐生市黒保根、桐生市新里は、平成25年7月31日

下仁田町、東吾妻町、明和町は、平成25年6月1日推計

片品村は、平成24年10月1日

吉岡町は、平成22年3月31日

高崎市群馬、高崎市新町は、平成18年1月23日

しぶかわは、平成17年10月1日推計

## 5. 業種別構成

### (1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	5	15.6
木材・木製品	4	12.5
印刷・同関連業	3	9.4
プラスチック製品	3	9.4
窯業・土石製品	1	3.1
金属製品	3	9.4
はん用機械器具	1	3.1
生産用機械器具	4	12.5
電気機械器具	3	9.4
輸送用機械器具	4	12.5
その他	1	3.1
合 計	32	100.0

### (2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	13	41.9
職別工事業	11	35.5
設備工事業	7	22.6
合 計	31	100.0

### (3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
各種商品	4	9.3
織物・衣服・身の回り品	7	16.3
飲食料品	20	46.5
その他小売業	12	27.9
合 計	43	100.0

### (4) サービス業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
飲食店	14	31.8
宿泊業	9	20.4
映像・音声・文字情報制作業	1	2.3
道路貨物運送業	1	2.3
廃棄物処理業	1	2.3
自動車整備業	3	6.8
不動産取引業	1	2.3
持ち帰り・配達飲食サービス業	2	4.5
専門サービス業	1	2.3
洗濯・理容・美容・浴場業	9	20.4
その他の生活関連サービス業	1	2.3
娯楽業	1	2.3
合 計	44	100.0







## 1. 群馬県全産業の景況概況

今期（平成26年1月～3月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲31.3→▲6.2、建設業：42.0→38.8、小売業：▲28.6→▲41.9、サービス業：▲39.5→▲23.8となった。建設業においてはわずかな下落ながらも前期の水準を保ち、製造業、サービス業で上昇、小売業では下落している。































また、業種別の景況判断では、製造業が「薄曇」、建設業が「快晴」、小売業が「雨」、サービス業が「曇」判断であった。

来期（平成26年1月～3月期）予想では、製造業：▲0.0→▲15.7、建設業：9.7→▲16.1、小売業：▲28.6→▲38.1、サービス業：▲21.4→▲23.2であり、全業種で下落傾向が見られた。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表示						
内容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

### 売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成23年度	平成24年度				平成25年度				平成26年度
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月 見込
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業	